



平成31年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年8月3日

上場会社名 本州化学工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4115 URL <http://www.honshuchemical.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福山 裕二
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 和田 和興 (TEL) 03-3272-1482
 四半期報告書提出予定日 平成30年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第1四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	5,454	15.7	1,110	8.5	1,112	9.5	752	12.3
30年3月期第1四半期	4,714	14.0	1,023	102.8	1,015	106.9	669	188.4

(注) 包括利益 31年3月期第1四半期 774百万円(△30.9%) 30年3月期第1四半期 1,120百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第1四半期	65.53	—
30年3月期第1四半期	58.37	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第1四半期	28,395	19,978	61.7
30年3月期	27,759	19,410	61.3

(参考) 自己資本 31年3月期第1四半期 17,515百万円 30年3月期 17,022百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	10.00	—	18.00	28.00
31年3月期	—	—	—	—	—
31年3月期(予想)	—	10.00	—	18.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,500	7.0	2,800	△12.7	2,700	△13.6	1,350	△21.7	117.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付書類4ページ(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

31年3月期1Q	11,500,000株	30年3月期	11,500,000株
31年3月期1Q	23,104株	30年3月期	23,104株
31年3月期1Q	11,476,896株	30年3月期1Q	11,476,933株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている将来に関する事項は、本資料発表日において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外経済の不確実性等のリスクが見られたものの、輸出の緩やかな増加、個人消費の持ち直しや所得の堅調な回復等により景気の回復基調が継続しました。

当社グループを取り巻く事業環境は、原材料価格の上昇等があったものの、引き続き情報関連財及び自動車関連市場の好調を受け、概ね順調に推移しました。

この結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間における売上高は5,454百万円(前年同四半期比15.7%増)、営業利益は1,110百万円(同8.5%増)、経常利益は1,112百万円(同9.5%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は752百万円(同12.3%増)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

<化学品>

・ビフェノール

ビフェノールは、パソコン、スマートフォンやデジタル家電等の情報通信機器の電子部品に用いられる液晶ポリマー(LCP)の原料や医療分野等で使用されるポリフェニルスルホン(PPSU)の原料として使用されております。

当第1四半期連結累計期間においては、ビフェノールは需要安定により、販売は順調に推移し、売上高は前年同四半期並みとなりました。

・クレゾール誘導品

クレゾール誘導品は、家畜用飼料の添加剤に使用されるビタミンEの原料や電子材料及び酸化防止剤等の原料として使用されております。

当第1四半期連結累計期間においては、ビタミンE原料の需要堅調による販売増加により、売上高は前年同四半期を上回りました。

この結果、化学品セグメントについては、売上高は2,598百万円(前年同四半期比33.5%増)、総売上高に占める割合は47.7%となり、セグメント利益は435百万円(同15.7%増)となりました。

<機能材料>

・電子材料

当社の電子材料は、半導体及びフラットパネルディスプレイ(液晶・有機ELディスプレイ)等の製造過程で使用されております。

当第1四半期連結累計期間においては、スマートフォン販売鈍化の影響を受けフラットパネルディスプレイ領域の一部がやや減速したものの、それ以外のLCD向けや半導体需要が堅調に推移し、また開発品も順調に進捗したことから、売上高は前年同四半期を上回りました。

・特殊ビスフェノール

特殊ビスフェノールを原料とした樹脂は、耐熱性、光学特性に優れているため、特殊ポリカーボネート樹脂(自動車用部品、光学・電子部品用途向け)や特殊エポキシ樹脂(半導体封止材、積層板用途向け)の原料として使用されております。

スマートフォン1台あたりのレンズ使用枚数増加や光学レンズ用途の裾野拡大により、当第1四半期連結累計期間においては、光学部品用途向けを中心に需要が堅調に推移し、売上高は前年同四半期を上回りました。

この結果、機能材料セグメントの売上高は、1,030百万円(前年同四半期比24.6%増)、総売上高に占める割合は18.9%となり、セグメント利益は251百万円(同11.1%増)となりました。

<工業材料>

・特殊ビスフェノール

自動車部品用途向けの特殊ポリカーボネート樹脂の原料に使用される特殊ビスフェノールは、主に海外生産拠点のハイビス社において製造販売しております。

当第1四半期連結累計期間においては、為替変動の影響が少なく、売上高は前年同四半期並みとなりました。

・受託品

受託契約の一部が終了したため、売上高は前年同四半期を下回りました。

この結果、工業材料セグメントの売上高は、1,698百万円(前年同四半期比6.7%減)、総売上高に占める割合は31.1%となり、セグメント利益は559百万円(同6.9%減)となりました。

<その他>

販売用役等のその他セグメントの売上高は126百万円(前年同四半期比5.3%増)、総売上高に占める割合は2.3%となり、セグメント利益は12百万円(同30.6%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

流動資産は、売掛金の増加(546百万円)、商品及び製品の増加(392百万円)等により、対前年度末比951百万円増加し、18,325百万円となりました。

固定資産は、機械装置及び運搬具の減少(308百万円)等により、対前年度末比316百万円減少し、10,070百万円となりました。

この結果資産合計は、対前年度末比635百万円増加し、28,395百万円となりました。

負債合計は、買掛金の増加(493百万円)、未払法人税等の減少(314百万円)等により、対前年度末比67百万円増加し、8,416百万円となりました。

純資産は、利益剰余金の増加(545百万円)等により、対前年度末比567百万円増加し、19,978百万円となりました。

この結果、自己資本比率は61.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年5月15日に公表いたしました業績見通しの数字については、現時点では変更ありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①固定資産の減価償却の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

②税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,918	7,942
売掛金	5,262	5,808
商品及び製品	2,671	3,064
仕掛品	305	284
原材料及び貯蔵品	1,087	1,104
その他	128	120
流動資産合計	17,373	18,325
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	6,794	6,485
その他(純額)	2,653	2,622
有形固定資産合計	9,447	9,108
無形固定資産	36	56
投資その他の資産	901	905
固定資産合計	10,386	10,070
資産合計	27,759	28,395
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,537	3,030
短期借入金	1,261	1,000
未払法人税等	618	303
役員賞与引当金	15	6
その他	1,143	1,304
流動負債合計	5,574	5,645
固定負債		
役員退職慰労引当金	30	—
退職給付に係る負債	1,888	1,913
その他	854	857
固定負債合計	2,774	2,771
負債合計	8,349	8,416

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,500	1,500
資本剰余金	1,013	1,013
利益剰余金	14,317	14,863
自己株式	△14	△14
株主資本合計	16,816	17,362
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	61	72
為替換算調整勘定	121	63
退職給付に係る調整累計額	21	16
その他の包括利益累計額合計	205	153
非支配株主持分	2,388	2,462
純資産合計	19,410	19,978
負債純資産合計	27,759	28,395

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
売上高	4,714	5,454
売上原価	3,234	3,829
売上総利益	1,479	1,624
販売費及び一般管理費	456	514
営業利益	1,023	1,110
営業外収益		
受取配当金	2	13
為替差益	4	0
その他	0	0
営業外収益合計	8	13
営業外費用		
支払利息	11	10
固定資産除却損	3	1
その他	0	0
営業外費用合計	16	11
経常利益	1,015	1,112
税金等調整前四半期純利益	1,015	1,112
法人税等	231	237
四半期純利益	784	874
非支配株主に帰属する四半期純利益	114	122
親会社株主に帰属する四半期純利益	669	752

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
四半期純利益	784	874
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	15	10
為替換算調整勘定	303	△106
退職給付に係る調整額	17	△5
その他の包括利益合計	336	△100
四半期包括利益	1,120	774
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	869	699
非支配株主に係る四半期包括利益	250	74

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(役員退職慰労金制度の廃止)

当社は、平成30年6月22日開催の第89期定時株主総会において、役員退職慰労金制度の廃止に伴う退職慰労金の打ち切り支給を決議いたしました。

これに伴い、「役員退職慰労引当金」を全額取り崩し、打ち切り支給額の未払分を固定負債の「その他」に含めて表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	化学品	機能材料	工業材料	計				
売上高								
外部顧客への売上高	1,946	827	1,820	4,593	120	4,714	—	4,714
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	1,946	827	1,820	4,593	120	4,714	—	4,714
セグメント利益	376	226	600	1,203	9	1,213	△190	1,023

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、販売用役等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△190百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△190百万円が含まれております。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成30年4月1日 至 平成30年6月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	化学品	機能材料	工業材料	計				
売上高								
外部顧客への売上高	2,598	1,030	1,698	5,327	126	5,454	—	5,454
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	2,598	1,030	1,698	5,327	126	5,454	—	5,454
セグメント利益	435	251	559	1,246	12	1,259	△148	1,110

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、販売用役等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△148百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△148百万円が含まれております。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。